

笑顔燦燦



八代小学校だより

自分の命を 自分で守る力を！

～交通教室を実施しました～

八代小学校区は、交通量の多い大きな県道を抱える一方、一步宅地に入れば道幅が狭い生活道路があり、しかもかなりの交通量があります。交差点の見通しも決してよくなく、常に事故の心配を抱えています。

学校では、教科や日常的な交通安全の指導を行っていますが、先日その一環として、下学年の交通教室を実施しました。八代警察署、地区の交通指導員、PTA交通委員の方々の協力をいただき、横断歩道の渡り方や安全確認の仕方、自転車の正しい乗り方等について学びました。この教室を通して学んだ知識や技術は、すべて交通事故から「自分の命を、自分自身で守る」ためのものです。

以前、朝の交通指導の折、ある交通指導員の方から、「私たちが危険な横断歩道に立つのは、その場の危険から子どもを守るのが目的でない。子どもたちに、どうしたら危険な目に遭わずに安全に横断歩道を渡るかを学んでもらうために立っている。」というお話を聞きました。なるほど、「子どもの命を守るとは、危険から遠ざけるのではなく、自分の命を自分で守る力をつけてやることなのだ。」と再認識しました。

先日、朝の登校の様子を見て回っていた時に、新一年生と一緒に歩いてこられる保護者の方に出会いました。そのお父さんは見通しの悪い横断歩道で立ち止まると、「さあ、どうする？」と優しくお子さんに声をかけ、立ち止まったの安全確認や手を上げての横断の仕方を、現場で話されていました。家を出る前の「車に気をつけてね。」という声かけも大切ですが、親子で一緒に「自分の命を自分で守る」ことについて話をするのも大切だなと感じたところです。



6月27日には、上学年の交通教室も計画されています。学校でも交通安全についての指導を続けて参りますが、是非ご家庭でも「自分の命を自分で守る」ために、どうしたらよいのかを食卓の話題にいただければと思います。

地域の支えの中で・・・

グリーンのカーテン

5月27日（月）、YKKap様のご厚意で、八代小学校に、理科の観察用メダカ50匹と、グリーンカーテン用のゴーヤの苗をいただきました。

最近メダカをなかなか見ることができず、子どもたちも「メダカ」と「カダヤシ」の区別がつかなかったようです。今後、理科学習に活用して行く予定です。

ゴーヤの苗は、早速みどり委員会の子どもたちの手で、職員室棟前花壇に植え付けました。

メダカの観察やゴーヤの世話しながら、子どもたちと一緒に環境について考えていきたいと思えます。



八代校区を歩こう会

5月26日（日）に、住民自治協議会主催の八代校区を歩こう会が実施され、八代小学校から学年PTA行事として、1年生、2年生、3年生が参加しました。

子どもたちは保護者の皆さんと一緒に、蛇籠公園を出発し3.6kmの河川敷を、強い日差しでしたが心地よい風に吹かれながら、元気に完歩しました。

昼食には、婦人会お手製のカレーをごちそうになり、お菓子のお土産までいただいて大満足の日だったようです。

住民自治協議会をはじめたくさんの地域の方々、子どもたちにすてきな経験をありがとうございました。

